

記載例(油流出事故の場合)

様式13

令和 年 月 日

浜松市長 中野 祐介 様

法人にあっては、主たる事業所の所在地を記載すること。

住所

法人にあっては、その名称及び代表者の氏名を記載すること。

氏名

再発防止策報告書

令和●年●月●日、●●株式会社 ●●工場 より 油流出 事故が発生させ誠に申し訳ありませんでした。つきましては、下記の再発防止策を確実に履行し、このような事故を二度と起こさないよう注意します。

記

1 事故発生時刻	・ 1月23日 午後 ・ 不明(2月1日 午後 探知) 等
2 事故発生場所 (住所、工場名等)	浜松市●区●●町●● (●●工場)
3 事故発生原因	・ 貯油タンクのドレインバルブが開口し、防液堤の排水口を開口していたため、A重油が公共用水域へ流出した。 ・ 油水分離槽の清掃を怠っていたため、油水分離槽の能力を超えて油分が蓄積し、公共用水域へ流出した。
4 流出した物質の種類及び量	種類：A重油 量：最大200リットル
5 再発防止策	・ 廃油ドラム缶の日常点検を実施する。 ・ 廃油ドラム缶から油が周囲に拡散しないよう、ドラム缶の周りに防液堤を設置する。 ・ 廃油ドラム缶は、屋内で保管する。 ・ 専任でドラム缶の日常点検を行う従業員を配備し、再発防止体制を整備した。 ・ 従業員に対して油の使用上の注意、ドラム缶の操作方法について講義を行った。 ※枠内に納まらない場合は、別紙記載も可
6 その他・参考事項	